

# 対マラウイ無償資金協力

## 「第3次中等学校改善計画」

### 開校式典

2018年11月9日



(左上)：柳沢特命全権大使とムサカ教育・科学技術大臣による記念銘板の除幕の様子 (右上)：整備された図書室  
(左下)：整備された理科実験室での授業の様子 (右下)：柳沢特命全権大使とムサカ教育・科学技術大臣の整備された教室及び机・椅子を視察する様子

2018年11月9日、リロングウェ県ナテンジェ地区にあるムワティブ・コミュニティ中等学校において「第3次中等学校改善計画」の開校式典が開催されました。

この案件は、8県から選ばれたコミュニティ中等学校9校と通常中等学校2校の計11校を対象に、学校施設等の改善を目的としたものです。2014年3月に日本政府とマラウイ政府との間で書簡の交換を行い、またJICAとマラウイ政府との間で17億5600万円を供与額とする贈与契約の署名を行いました。2014年11月から、古い建物の改修や新しい施設の建設が始まり、2017年5月に全ての学校で完工しました。対象となった中等学校は、マラウイ政府の学校施設基準を満たすように整備されています。全対象校は、教室、理科実験室、管理図書室棟、トイレ棟が整備されました。また、主に都市部の学校には多目的ホールが、農村部の学校には教員住宅と井戸が、合わせて建設されました。

「中等学校改善計画」は2010年から始まり、累計14県23中等学校において実施され、16,000人以上の生徒が裨益しています。式典に参加した柳沢特命全権大使は、建設を成功に導いた全ての関係者の努力を讃えるとともに、日本は教育、特に中等教育に重点を置いて支援していると述べました。ムサカ教育・科学技術大臣は、本式典において日本に感謝を述べるとともに、美しく整備された学校施設を賞賛し、マラウイ政府は教育の質の向上に取り組んでいくと述べました。